

平成30年度の主な取組状況

I 圏域全体の経済成長のけん引

○新規需要創出・喚起促進

【連携市町】 岡山市、真庭市

- 11月12日(月)にCLT建材の特性や、施工技術等の浸透を目的としたセミナー「CLTで建てられる建築とコスト～四角いだけではないCLT建築・適材適所とコスト～」を開催し、県内外の建築・建材・林業関係者等、計109名が参加。
- 真庭市内のCLT建築物の見学会や、岡山市で開催された林業振興パネル展での普及促進PR活動の実施。



○食品製造業見本市共同出展

【連携市町】 岡山市、津山市、瀬戸内市、真庭市

- 意欲ある圏域内食品製造業企業の販路開拓・拡大を支援するため、首都圏で開催される見本市へ共同ブースを設置し、4市15企業が出展予定。



【2019の計画図】



【2017の見本市の様子】

FOOD TABLE in JAPAN
スーパーマーケット・トレードショー2019
【2月13日(水)～15日(金) 於:幕張メッセ】

○圏域内周遊に向けた歴史・文化資源発信

【連携市町】 全市町

- あさのあつこ氏執筆の短編集を活用したモデルコース(旧閑谷学校や後楽園など)を造成し、県外在住の20～30代女性10名を対象に、「歴史小説×観光」のモニターツアーを実施。
- 情報誌へ短編集の物語にまつわる観光スポットを掲載し、情報発信。
- 短編集及びモデルコースの周知を目的としたリーフレットを年度末に作成予定。
- サイクリングロードマップの作成及びサイクリングロードの路面補修。



III 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

○移住促進連携

【連携市町】 全市町

- 連携市町による東京での移住相談会を3回開催し、計113組171名の参加があった。
- 東京大手町の「おかやまぐらし移住の窓口」の相談時間を見直し、体制を充実。
- 実際の生活を体験できる移住下見ツアーを3回実施し、計24組54名の参加があった。
- ウェブサイト「GYOSANおかやま」で移住に関する情報を発信。



○図書館相互利用

【連携市町】 岡山市、玉野市、備前市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、美咲町、吉備中央町(瀬戸内市)

- 平成30年10月から、瀬戸内市が相互貸出しに先行参加。
- 平成31年1月8日(火)から、連携市町間での圖書の相互返却を開始。



II 高次の都市機能の集積・強化

○中国横断自動車道岡山米子線による交流促進

【連携市町】 岡山市、総社市、真庭市、吉備中央町

- 高速道路を活かした、渋滞緩和対策としての料金割引社会実験
 - ・国道53号、国道180号の渋滞緩和のための吉備スマートIC利用を対象とした高速道路料金割引を実施。(※実績については精査中)
 - 【10月7日(日)～11月30日(金)】
- 人とモノの交流促進のための料金割引社会実験
 - ・地域の特色を打ち出した様々なイベントの開催に合わせて、岡山米子線沿線で高速道路料金割引(周遊エリア内乗り放題)を実施。(※実績については精査中)
 - 【8月18日(土)～12月24日(月)の休日(土・日・祝)日帰り限定】



○市民活動の広域展開と市民協働の推進

【連携市町】 岡山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、久米南町、美咲町、吉備中央町

- 岡山市のウェブサイト開設した「ひろがる協働」で連携市町の協働の取組を紹介、NPO法人等の「こんなことができますリスト」を掲載し、課題解決につながるマッチングを推進。
- 多様な主体による課題解決のためのワークショップ、官民協働事業の報告会(6月)、地域協働フォーラム(1月)等を開催。

○河川の水質改善と環境保全推進

【連携市町】 岡山市、赤磐市、真庭市

- 旭川で繋がる岡山市と真庭市で、自然体験及び環境学習を行う環境体験エコツアー「自然体験バスツアーin真庭」を7月に実施。
- 砂川で繋がる岡山市と赤磐市で、環境体験バスエコツアー「水辺の生き物しらべ隊!」を8月に実施。
- 岡山市と真庭市で、環境に関するテーマを設けて学習する講座「ローカル・アース・カレッジ木山」を9月～12月で計5日間の連続講座を実施。初回の講座では、水質浄化のシンボルとして牡蠣殻を池に設置し、状況調査を行った。



○人事交流・育成

【連携市町】 岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、美咲町、吉備中央町

- 新たに岡山市と美咲町の間で、相互1名の職員派遣による人事交流を実施。
- 圏域内市町職員を対象とした職員研修を実施。8月から1月の間に、会議力向上研修やプレゼンテーション研修など5つの研修を計140名の職員が受講。